

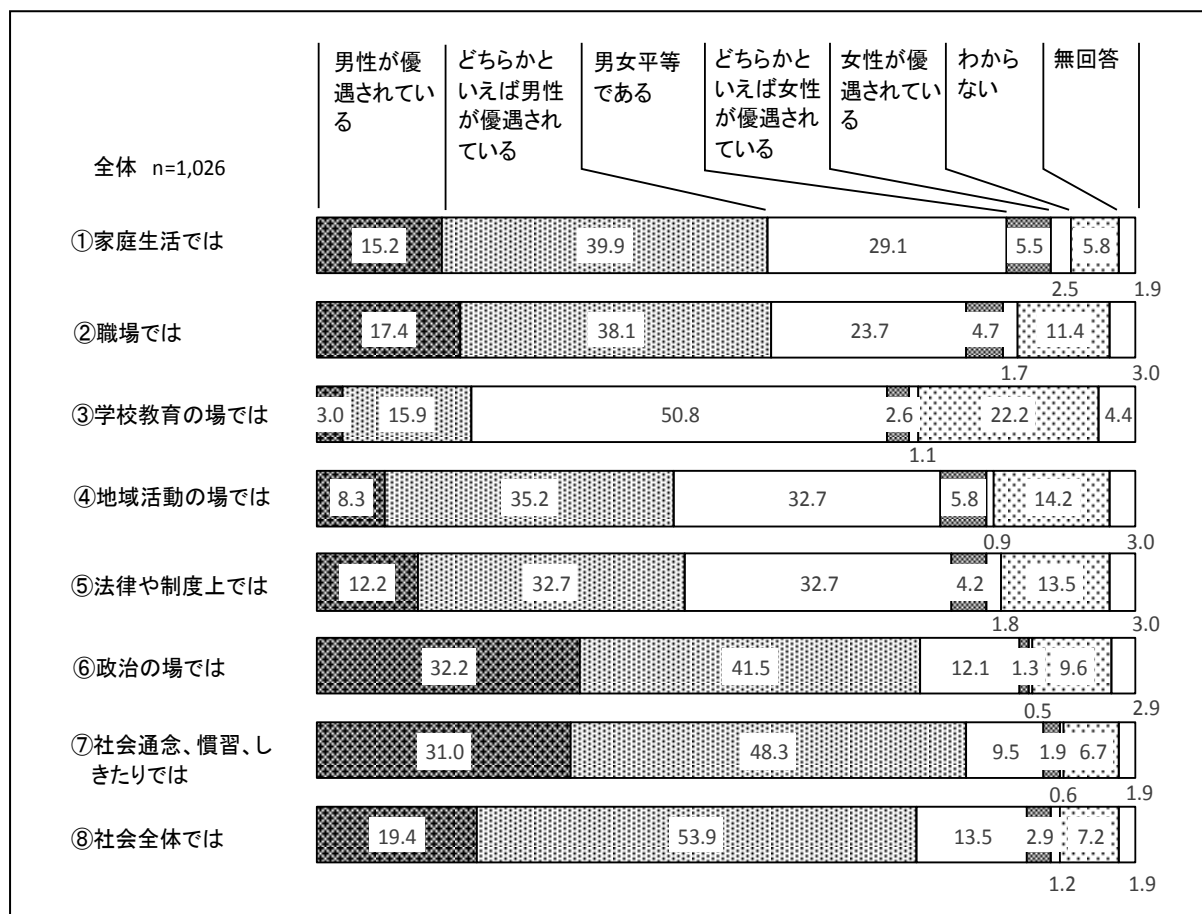
Ⅲ. 調査結果の分析

Ⅲ. 調査結果の分析

1 男女平等意識について

(1) 男女の地位の平等に関する意識

問5 次の各分野での男女の地位が平等だと思いますか。



- 「学校教育の場」以外は、「男性優遇」の割合が最も高く、特に、「政治の場」や「社会通念、慣習、しきたり」、「社会全体」では7~8割と著しい。
- “男女平等である”とする割合は、「学校教育の場」(50.8%)が最も高く、以下、「地域活動の場」や「法律や制度上」、「家庭生活」が3割前後で続く。
- “女性優遇”の割合は少なく、「家庭生活」(8.0%)以下、いずれも1割未満となっている。

※ “男性優遇”とは「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合の合計。“女性優遇”とは、「女性の方が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」の割合の合計。

◇全体ランキング

ランキング別でみると、“男女平等である”とする割合は、「学校教育の場」をトップに、「地域活動の場」、「法律や制度上」、「家庭生活」が上位にあり、「社会通念、慣習、しきたり」が最下位となっている。

“女性優遇”とする割合は、「家庭生活」や「地域活動の場」、「職場」が上位にあり、「社会通念、慣習、しきたり」や「政治の場」が下位にある。

“男性優遇”では、「社会通念、慣習、しきたり」や「政治の場」、「社会全体」が7割台で上位を占め、「学校教育の場」が最下位にある。

全体ランキング

(%)

項目	順位	「平等である」
学校教育の場	1	50.8
地域活動の場	2	32.7
法律や制度上		32.7
家庭生活	4	29.1
職場	5	23.7
社会全体	6	13.5
政治の場	7	12.1
社会通念、慣習・しきたり	8	9.5

(%)

項目	順位	“女性優遇”
家庭生活	1	8.0
地域活動の場	2	6.7
職場	3	6.4
法律や制度上	4	6.0
社会全体	5	4.1
学校教育の場	6	3.7
社会通念、慣習・しきたり	7	2.5
政治の場	8	1.8

(%)

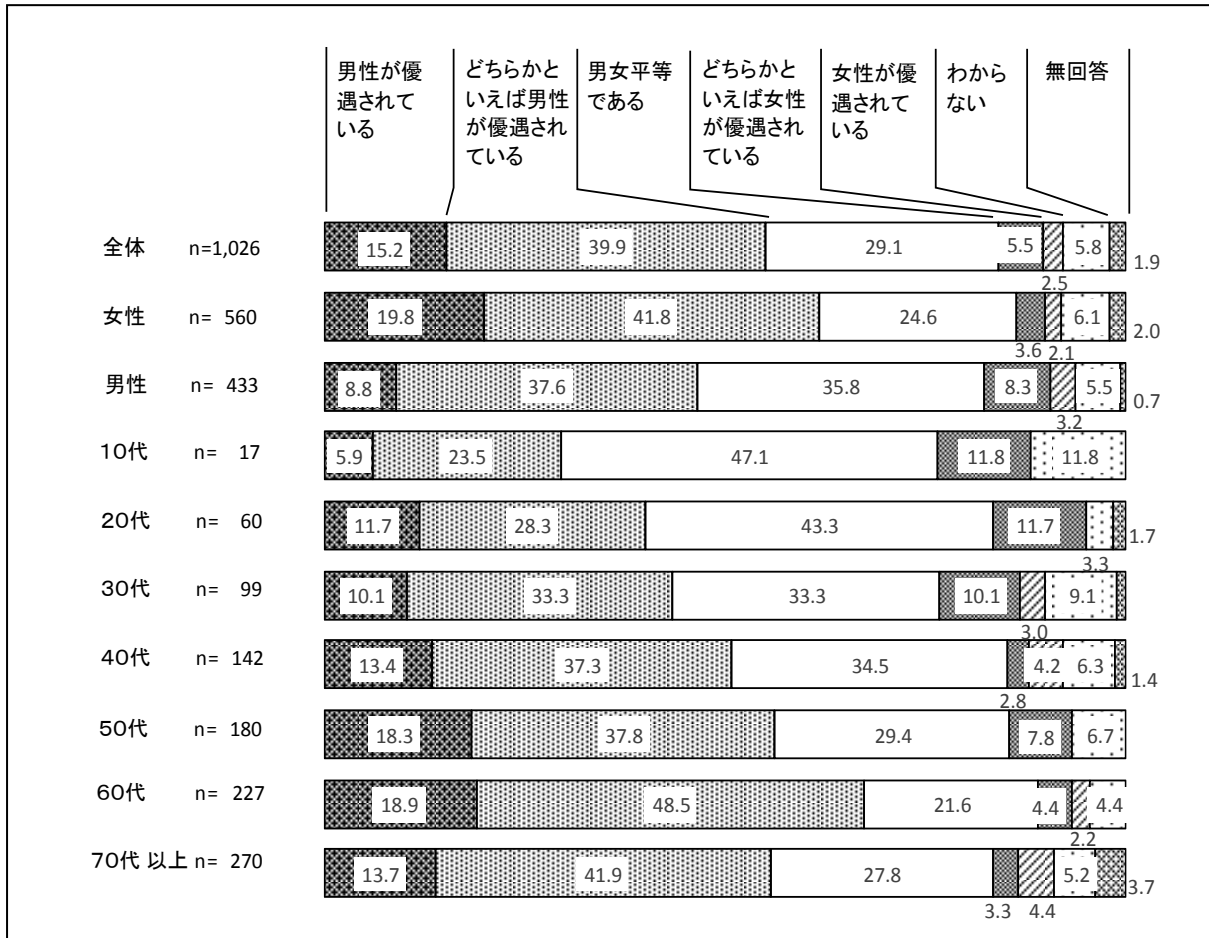
項目	順位	“男性優遇”
社会通念、慣習・しきたり	1	79.3
政治の場	2	73.7
社会全体	3	73.3
職場	4	55.5
家庭生活	5	55.1
法律や制度上	6	44.9
地域活動の場	7	43.5
学校教育の場	8	18.9

(※ “男性優遇” = 「男性が優遇されている」 + 「どちらかといえば男性が優遇されている」、
 “女性優遇” = 「女性が優遇されている」 + 「どちらかといえば女性が優遇されている」)

①家庭生活

◇全体

“男性優遇” 55.1% > “男女平等である” 29.1% > “女性優遇” 8.0%



- 全体では、“男性優遇”が55.1%、“男女平等である”が29.1%、“女性優遇”は8.0%である。
- “男性優遇”とする割合は、過半数を占める女性が男性を上回り、年齢別では、最も多い60代（67.4%）を中心に、50代～70代以上の中高年代での割合が高い。
- “男女平等である”は、男性（35.8%）が女性（24.6%）を上回り、年齢別では10代と20代（ともに4割台）の若い年代で特に高い。
- “女性優遇”は、男性及び10代～30代でそれぞれ1割強、それ以外は1割未満と少ない。

◇性別

“男性優遇”の割合は、女性（61.6%）が男性（46.4%）を15.2ポイント上回り、“男女平等である”の割合は、男性（35.8%）が女性（24.6%）を11.2ポイント上回る。

また、“女性優遇”では、男性（11.5%）が女性（5.7%）より5.8ポイント高い。

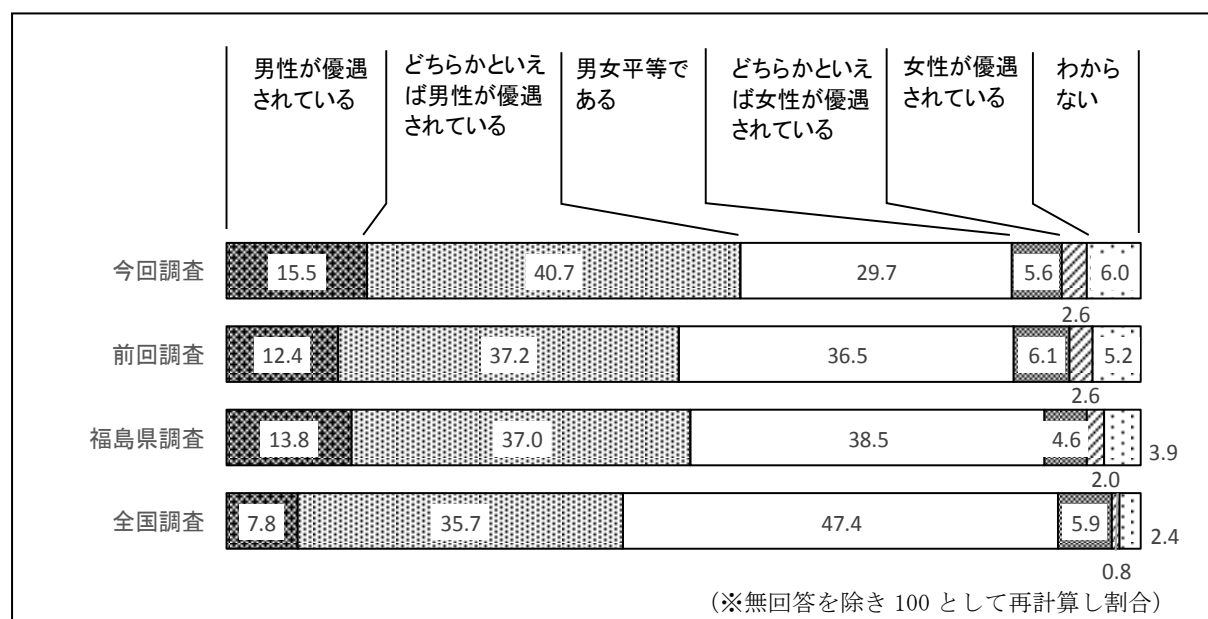
◇年齢別

“男性優遇”の割合は、60代（67.4%）をトップに、50代、70代以上、40代と続くなど年代が上がるにつれて高くなる。一方、“男女平等である”は10代20代が高く（ともに4割強）、“女性優遇”は、10代～30代の若い年代での割合が高い（ともに1割強）。

（%）		“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
女性	n=560	61.6	24.6	5.7
男性	n=433	46.4	35.8	11.5
10代	n= 17	29.4	47.1	11.8
20代	n= 60	40.0	43.3	11.7
30代	n= 99	43.4	33.3	13.1
40代	n=142	50.7	34.5	7.0
50代	n=180	56.1	29.4	7.8
60代	n=227	67.4	21.6	6.6
70代以上	n=270	55.6	27.8	7.8

◆前回調査・福島県調査・全国調査との比較

“男女平等である”の割合は全国が半数近くで最も高く、福島市（今回調査）を17.7ポイントと大きく上回る。一方、“男性優遇”は福島市（同上）が過半数を占め、全国、福島県を上回るとともに、前回調査よりもさらに6.6ポイント増加している。“女性優遇”はいずれも1割未満と少ないが、福島市は福島県や全国をわずかに上回る。

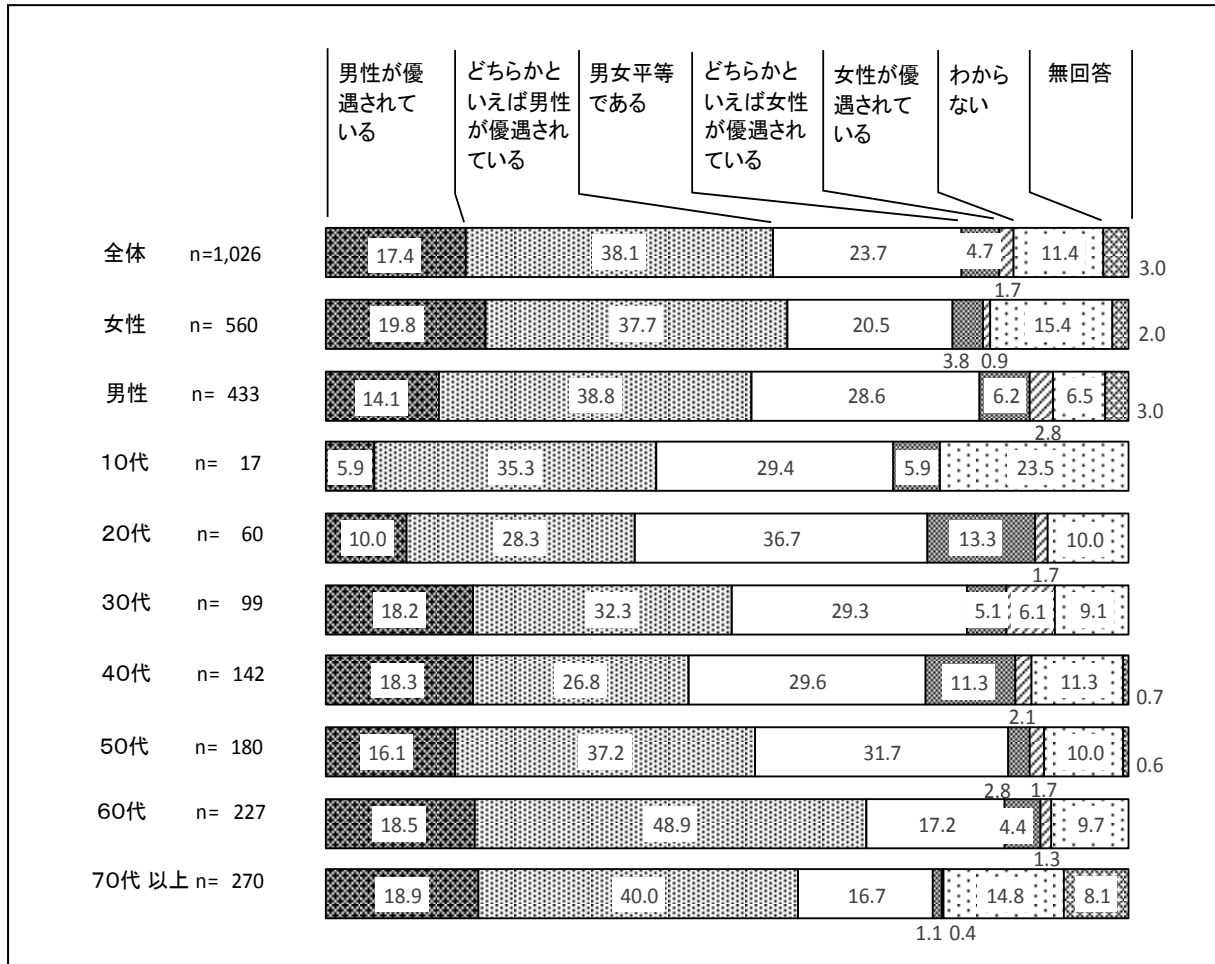


（%）	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	56.2	29.7	8.2
前回調査	49.6	36.5	8.7
福島県調査	50.8	38.5	6.6
全国調査	43.5	47.4	6.7

②職場

◇全体

“男性優遇” 55.5% > 「男女平等である」 23.7% > “女性優遇” 6.4%



- 全体では、“男性優遇”が55.5%、“男女平等である”が23.7%、“女性優遇”は6.4%である。
- “男性優遇”の割合は、男女とも過半数を占めるとともに、女性が男性を若干上回る。
- “男女平等である”は、男性が女性を上回り、年代別では最も多い20代を中心とする10代～50代に比べて、60代以上の高年代の割合は少ない。
- “女性優遇”の割合は、20代～40代でそれぞれ1割強となっている。

◇性別

“男性優遇”は、女性（57.5%）が男性（52.9%）を4.6ポイント上回り、反対に、“男女平等である”と“女性優遇”の割合は、男性が女性をそれぞれ8.1ポイント、4.4ポイント上回る。

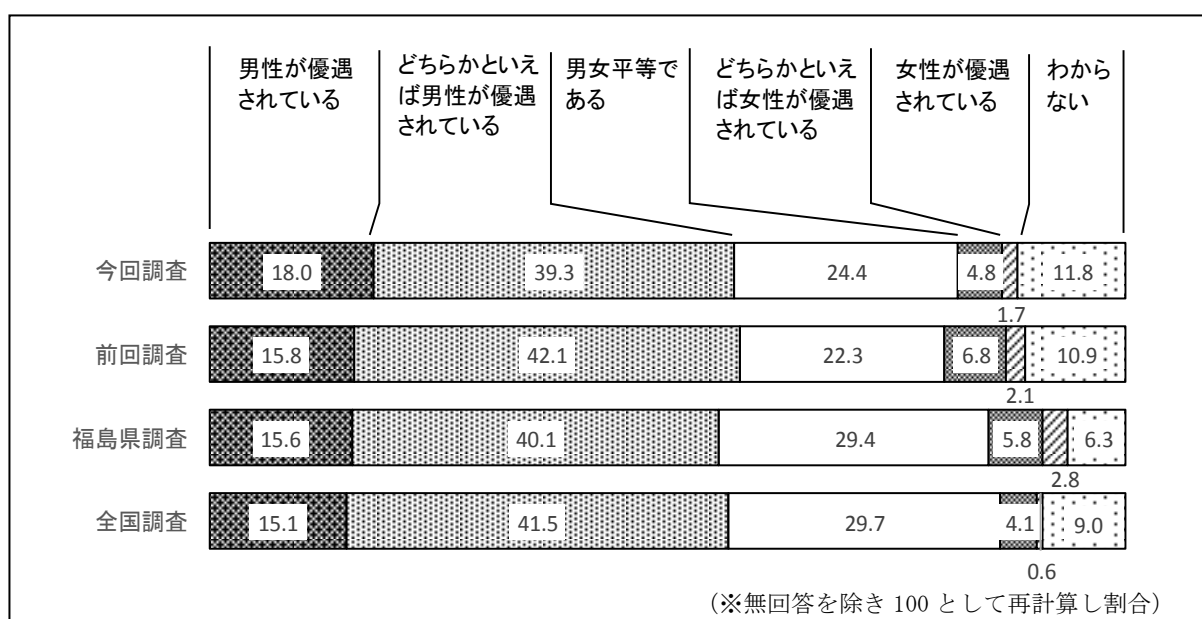
◇年齢別

“男性優遇”は、60代（67.4%）をトップに、70代以上と50代の中高年の割合が高い。一方、“男女平等である”は、10代～50代の3割前後に対して60代以上の高年代は1割台と低く、また、“女性優遇”は20代～40代が1割台でそれ以外は1割未満と少ない。

（%）		“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
女性	n=560	57.5	20.5	4.6
男性	n=433	52.9	28.6	9.0
10代	n= 17	41.2	29.4	5.9
20代	n= 60	38.3	36.7	15.0
30代	n= 99	50.5	29.3	11.1
40代	n=142	45.1	29.6	13.4
50代	n=180	53.3	31.7	4.4
60代	n=227	67.4	17.2	5.7
70代以上	n=270	58.9	16.7	1.5

◆前回調査・福島県調査・全国調査との比較

“男性優遇”は、福島市（今回調査）をはじめいずれも6割近くでほぼ同じ割合にある。一方、“男女平等である”は、福島県や全国を約5.0ポイント下回る。また、“女性優遇”の割合は、福島県よりは低いものの全国を若干上回るが、前回調査より2.4ポイント減少している。

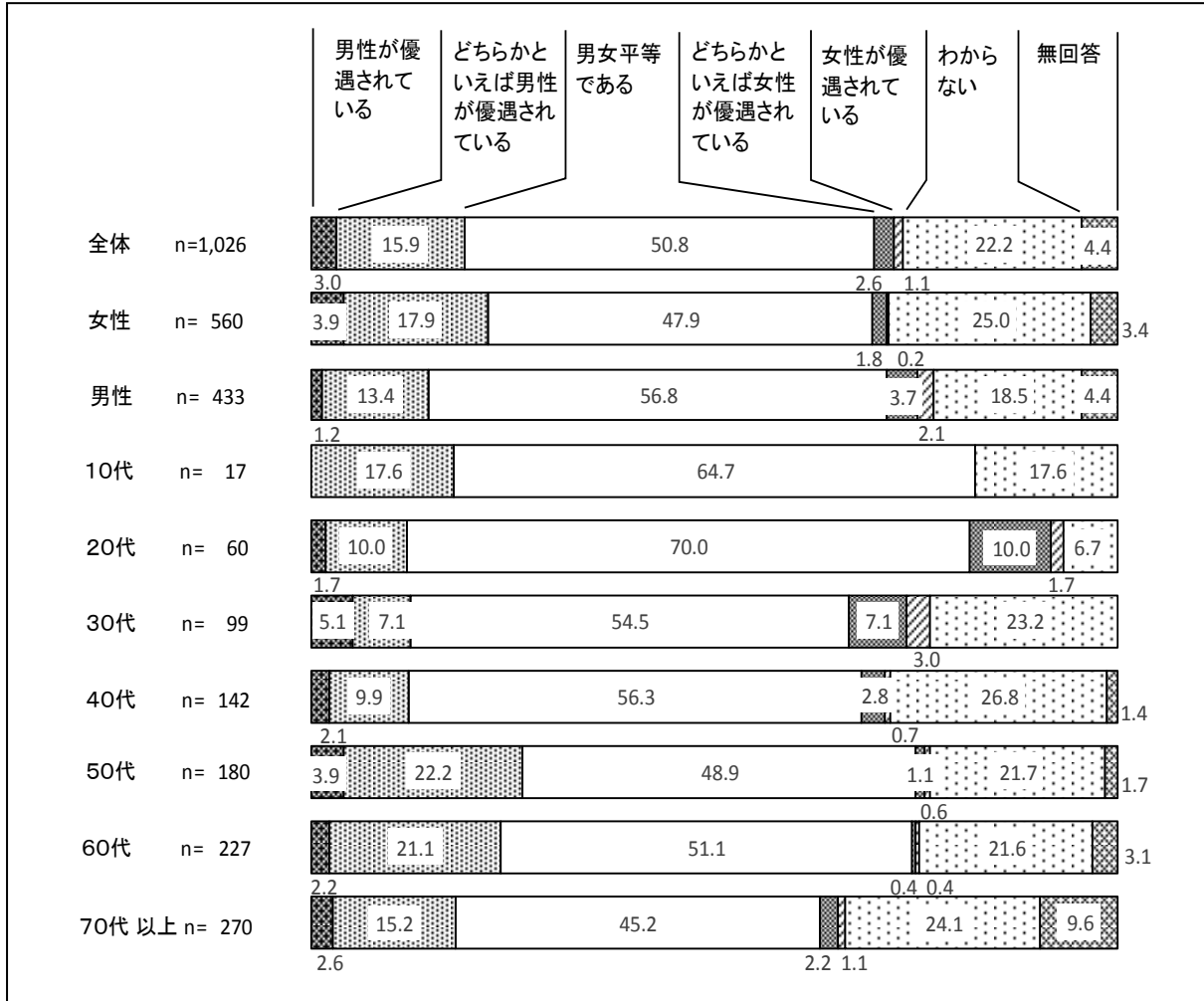


（%）	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	57.3	24.4	6.5
前回調査	57.9	22.3	8.9
福島県調査	55.7	29.4	8.7
全国調査	56.6	29.7	4.7

③学校教育の場

◇全体

「男女平等である」 50.8% > “男性優遇” 18.9% > “女性優遇” 3.7%



- 全体では、“男女平等である”が 50.8%、“男性優遇”が 18.9%、“女性優遇”は 3.7%である。
- “男女平等である”の割合は、男性が女性を上回り、年代別では、10代と20代の若い年代で特に高い。
- “男性優遇”は、女性が男性を上回り、年代別では50代、60代（いずれも2割台）に多い。一方、“女性優遇”は、20代と30代の1割程度以外は極端に少ない。

◇性別

“男女平等である”は、男性（56.8%）が女性（47.9%）を8.9ポイント上回り、“男性優遇”の割合は、女性（21.8%）が男性（14.5%）を7.3ポイント上回る。“女性優遇”は、男女ともに割合が小さい。

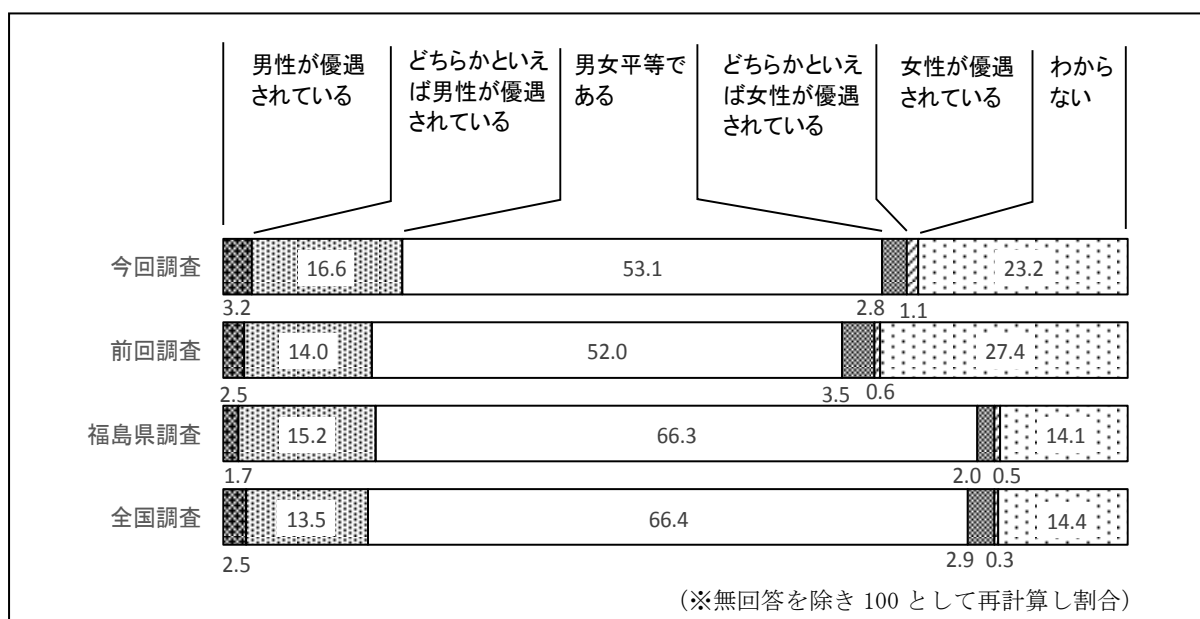
◇年齢別

“男女平等である”は、各年代で高い割合にあるが、特に、20代(70.0%)と10代(64.7%)の若い世代で高くなっている。また、“男性優遇”は、50代(26.1%)と60代(23.3%)、“女性優遇”では、20代(11.7%)と30代(10.1%)で約1割となっている。

(%)		“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
女性	n=560	21.8	47.9	2.0
男性	n=433	14.5	56.8	5.8
10代	n= 17	17.6	64.7	0.0
20代	n= 60	11.7	70.0	11.7
30代	n= 99	12.1	54.5	10.1
40代	n=142	12.0	56.3	3.5
50代	n=180	26.1	48.9	1.7
60代	n=227	23.3	51.1	0.9
70代以上	n=270	17.8	45.2	3.3

◆前回調査・福島県調査・全国調査との比較

いずれの場合も“男女平等である”の割合が最も高いものの、福島市(今回調査)は福島県や全国と比べて約13.0ポイント低い。一方、“男性優遇”は、福島市(同上)が、福島県や全国をわずかに上回り、また、前回調査よりも3.4ポイント多い。

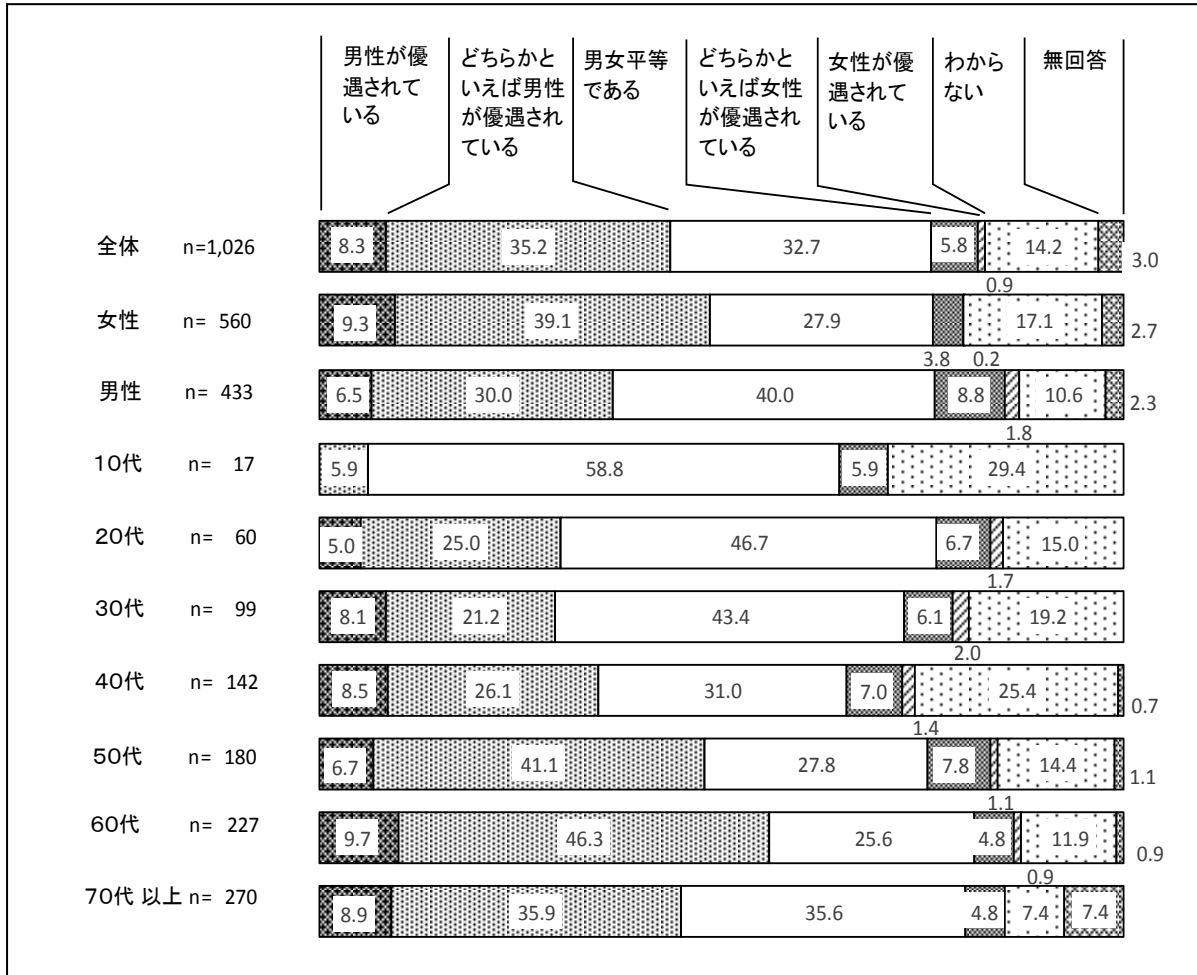


(%)	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	19.8	53.1	3.9
前回調査	16.4	52.0	4.2
福島県調査	16.9	66.3	2.6
全国調査	16.0	66.4	3.2

④地域活動の場

◇全体

“男性優遇” 43.5% > 「男女平等である」 32.7% > “女性優遇” 6.7%



- 全体では、“男性優遇”が43.5%、“男女平等である”が32.7%、“女性優遇”が6.7%である。
- “男性優遇”は、女性が男性を上回り、年齢別では50代以上の中高年代の割合が高い。“男女平等である”は、男性が女性を上回り、年齢別では、10代～30代の若い年代の割合が高い。
- “男性優遇”と“男女平等である”の割合が同程度なのは、男性と40代である。
- “女性優遇”の割合は、男性の約1割を除き、それ以外は1割未満と低い。

◇性別

“男性優遇”は、女性（48.4%）が男性（36.5%）を11.9ポイント上回り、“男女平等である”は、男性（40.0%）が女性（27.9%）を12.1ポイント上回る。

一方、“女性優遇”は、男性（10.6%）が女性（3.9%）を6.7ポイント上回る。

◇年齢別

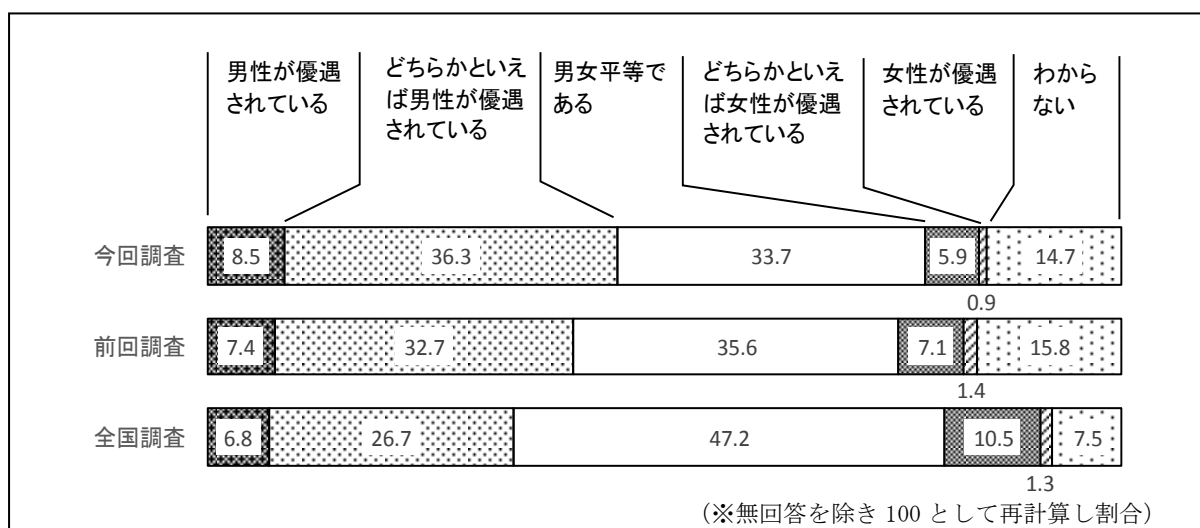
“男性優遇”は、60代（55.9%）をトップに50代（47.8%）、70代以上（44.8%）の中高年代の割合が高く、反対に、“男女平等である”は10代～30代の若い年代に多い。

“女性優遇”は、いずれの年代も1割以下と低い。

（%）		“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
女性	n=560	48.4	27.9	3.9
男性	n=433	36.5	40.0	10.6
10代	n= 17	5.9	58.8	5.9
20代	n= 60	30.0	46.7	8.3
30代	n= 99	29.3	43.4	8.1
40代	n=142	34.5	31.0	8.5
50代	n=180	47.8	27.8	8.9
60代	n=227	55.9	25.6	5.7
70代以上	n=270	44.8	35.6	4.8

◆前回調査・全国調査との比較

“男性優遇”の割合は、福島市（今回調査）が全国を11.3ポイント上回るが、一方、“男女平等である”は、全国の方が13.5ポイント多い。また、“女性優遇”は、全国から5.0ポイント下回るとともに、前回調査よりも1.6ポイント減少している。

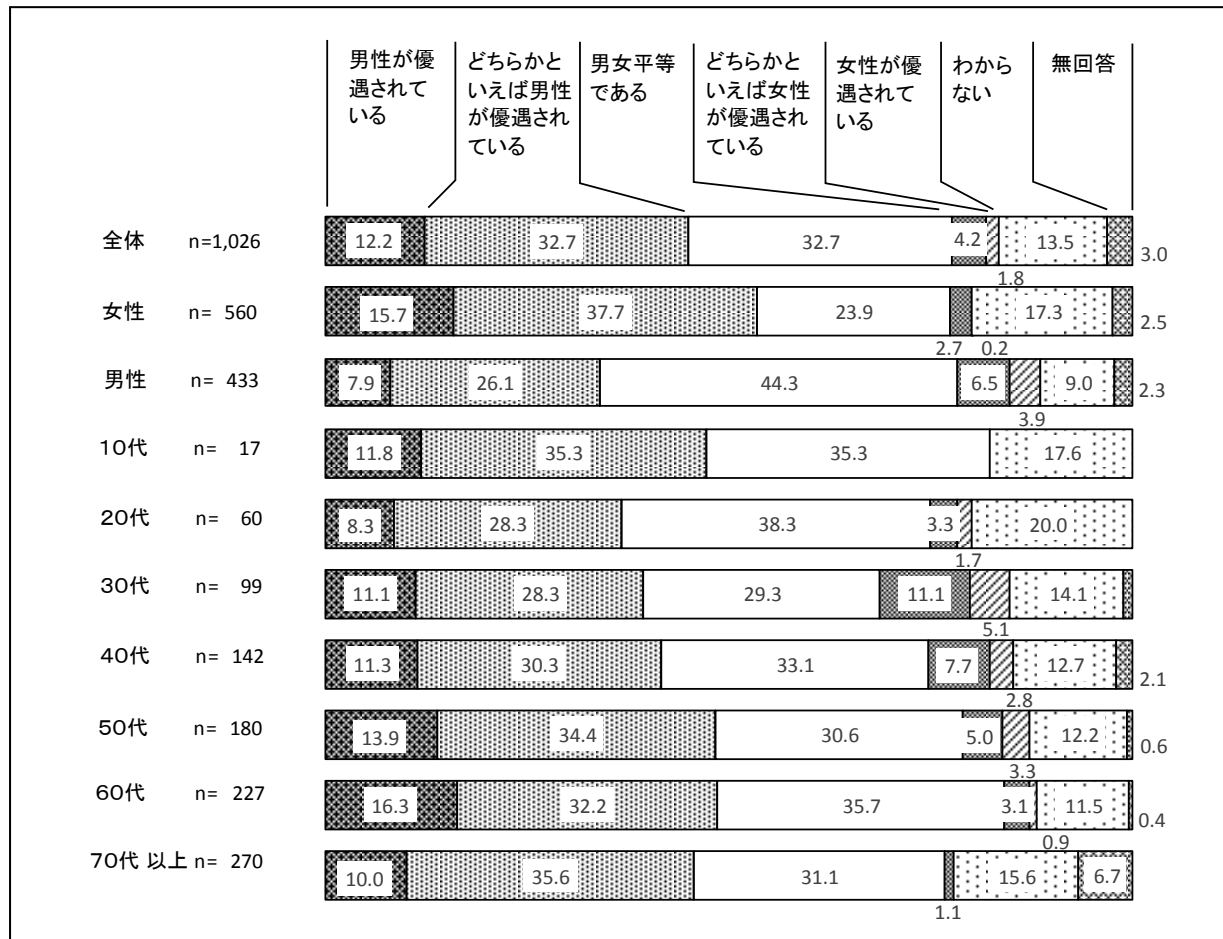


（%）	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	44.8	33.7	6.8
前回調査	40.1	35.6	8.4
全国調査	33.5	47.2	11.8

⑤法律や制度上

◇全体

“男性優遇” 44.9% > 「男女平等である」 32.7% > “女性優遇” 6.0%



- 全体では、“男性優遇”が44.9%、“男女平等である”が32.7%、“女性優遇”は6.0%。
- “男性優遇”は、女性が男性を上回り、年齢別では、10代と50代以上の中高年代の割合が高い。
- “男女平等である”は、男性が女性を上回り、年齢別では、どの年代でも3割台を占める。また、“男性優遇”の割合が“男女平等である”を上回るのは、女性の場合と20代を除く全ての年代となっている。
- “女性優遇”は、男性が女性を上回り、年齢別では、30代、40代が1割台を占める以外は1割未満と少ない。

◇性別

“男性優遇”は、女性（53.4%）が男性（33.9%）を19.5ポイントと大きく上回り、反対に、“男女平等である”は男性（44.3%）が女性（23.9%）を20.4ポイント上回っている。また、“女性優遇”は、男性（10.4%）が女性（2.9%）を7.5ポイント上回る。

◇年齢別

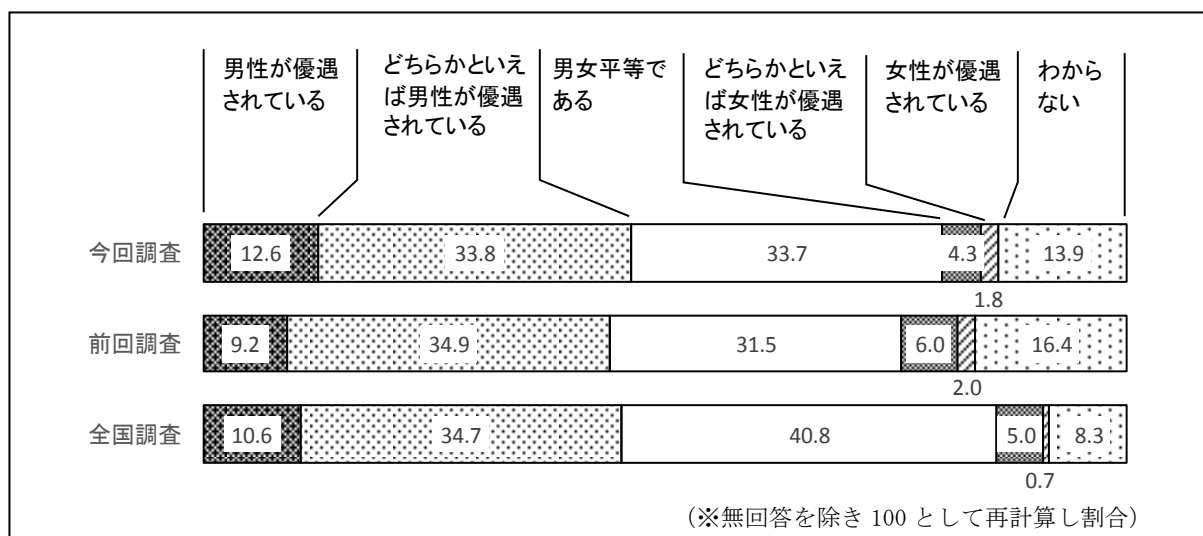
“男性優遇”は、どの年代も4割前後から5割近い割合にあり、特に、10代（47.1%）及び50代（48.3%）、60代（48.5%）の割合が高い。また、“男女平等である”も、各年代とも3割台を占め同程度にある。

“女性優遇”は、30代（16.2%）と40代（10.6%）以外は1割未満と少ない。

（%）		“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
女性	n=560	53.4	23.9	2.9
男性	n=433	33.9	44.3	10.4
10代	n= 17	47.1	35.3	0.0
20代	n= 60	36.7	38.3	5.0
30代	n= 99	39.4	29.3	16.2
40代	n=142	41.5	33.1	10.6
50代	n=180	48.3	30.6	8.3
60代	n=227	48.5	35.7	4.0
70代以上	n=270	45.6	31.1	1.1

◆前回調査・全国調査との比較

“男性優遇”の割合は、全国とはほぼ同じであるが、“男女平等である”は全国を7.1ポイント下回る。一方、“女性優遇”は、全国とはほぼ同じで少なく、また、前回調査より1.9ポイント減少している。

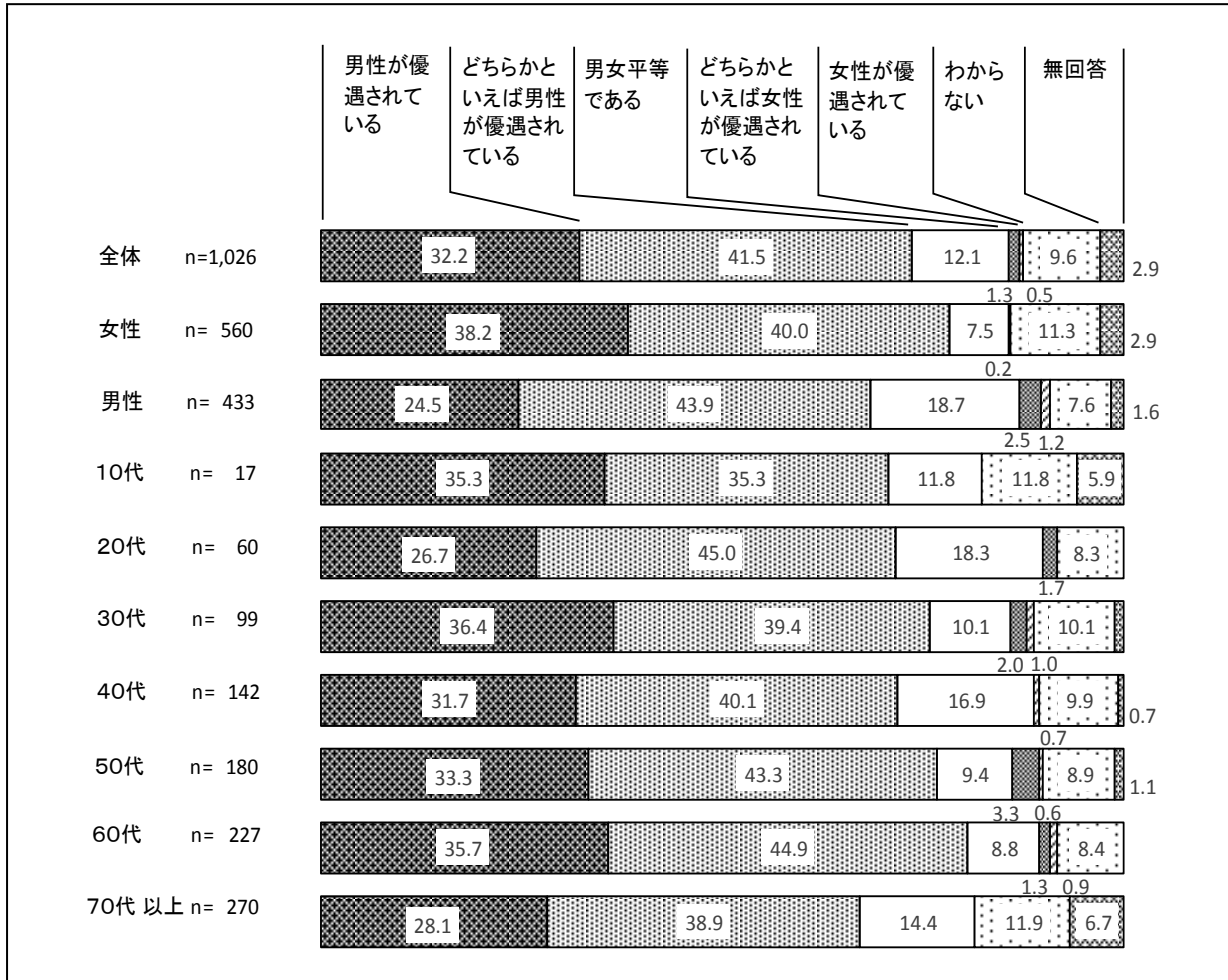


（%）	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	46.3	33.7	6.1
前回調査	44.1	31.5	8.0
全国調査	45.3	40.8	5.7

⑥政治の場

◇全体

“男性優遇” 73.7% > 「男女平等である」 12.1% > “女性優遇” 1.8%



- 全体では、“男性優遇”が73.7%と高く、“男女平等である”は12.1%、“女性優遇”は1.8%。
- “男性優遇”は、男女、各年代とも7割前後から8割程度と高く、中でも、女性（78.2%）と60代（80.6%）、50代（76.7%）などが上位にある。一方、“女性優遇”は、いずれも数パーセント以下と極端に少ない。
- “男女平等である”は、男性が女性を上回り、年齢別では、10代～40代と70代以上で1割台である。

◇性別

“男性優遇”の割合は、女性（78.2%）が男性（68.4%）より9.8ポイント多く、“男女平等である”は、反対に男性（18.7%）が女性（7.5%）を11.2ポイント上回る。一方、“女性優遇”の割合は、女性（0.2%）、男性（3.7%）ともにわずかである。

◇年齢別

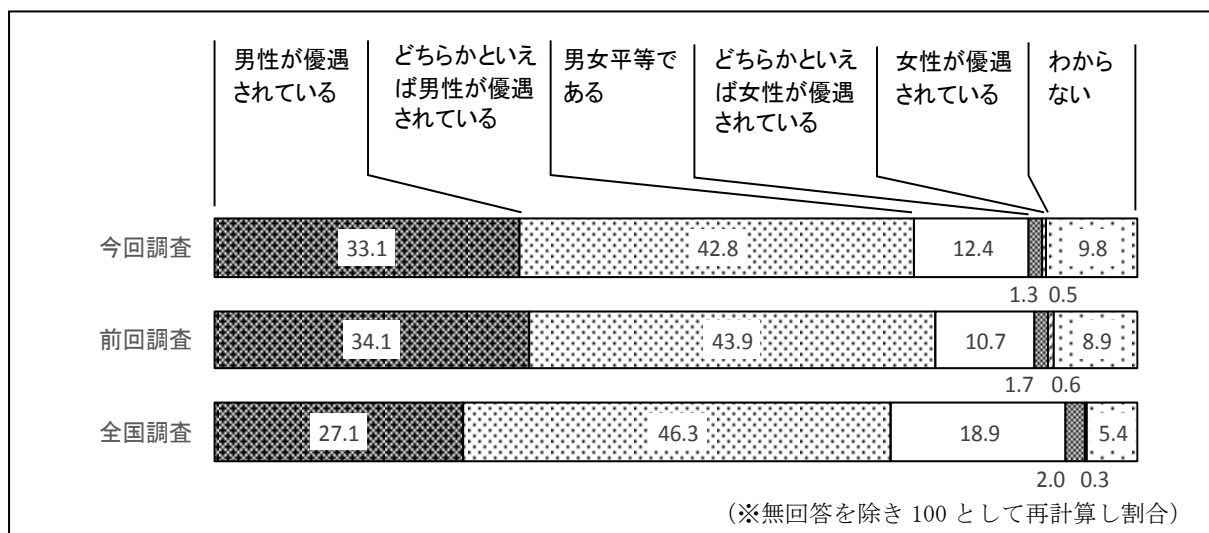
“男性優遇”の割合は、いずれの年代も7割前後から8割と高く、特に、60代（80.6%）をトップに50代（76.7%）、30代（75.8%）が上位にある。

“男女平等である”は、最も多いのが20代（18.3%）で、以下、40代（16.9%）、70代以上（14.4%）が続く。また、“女性優遇”はいずれも数パーセント以下と少ない。

（%）		“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
女性	n=560	78.2	7.5	0.2
男性	n=433	68.4	18.7	3.7
10代	n= 17	70.6	11.8	0.0
20代	n= 60	71.7	18.3	1.7
30代	n= 99	75.8	10.1	3.0
40代	n=142	71.8	16.9	0.7
50代	n=180	76.7	9.4	3.9
60代	n=227	80.6	8.8	2.2
70代以上	n=270	67.0	14.4	0.0

◆前回調査・全国調査との比較

7割以上と高い割合の“男性優遇”は、福島市（今回調査）が全国をわずかに上回るが、前回調査よりは2.1ポイント減少している。一方、“男女平等である”は全国が6.5ポイント上回り、また、“女性優遇”はともにわずかと少ない。

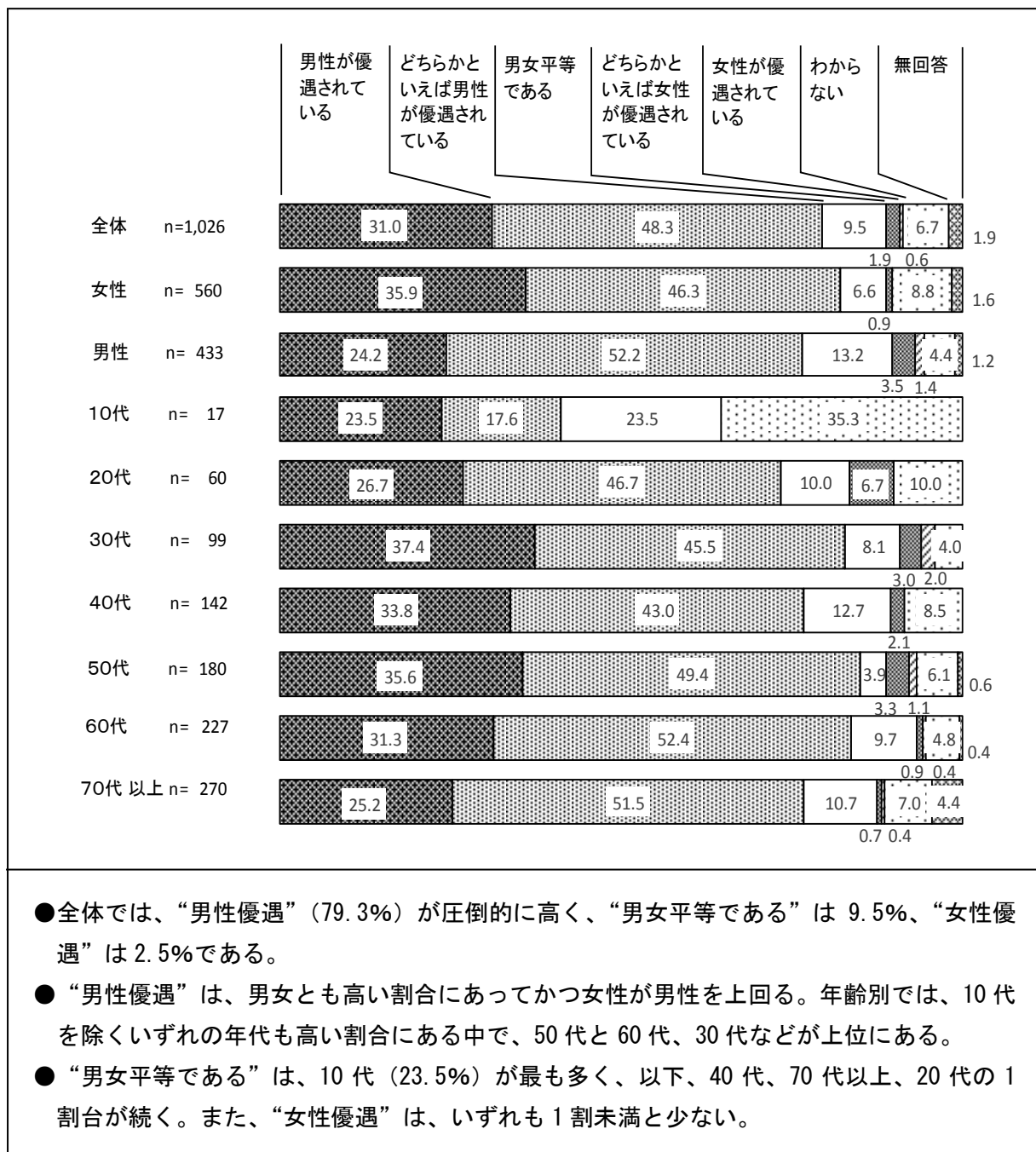


（%）	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	75.9	12.4	1.8
前回調査	78.0	10.7	2.3
全国調査	73.4	18.9	2.3

⑦社会通念、慣習・しきたり

◇全体

“男性優遇” 79.3% > “男女平等である” 9.5% > “女性優遇” 2.5%



◇性別

“男性優遇”の割合は、女性（82.1%）が男性（76.4%）を5.7ポイント上回り、反対に“男女平等である”は男性（13.2%）が女性（6.6%）を6.6ポイント上回る。

“女性優遇”の割合は、男性（4.8%）、女性（0.9%）ともにわずかである。

◇年齢別

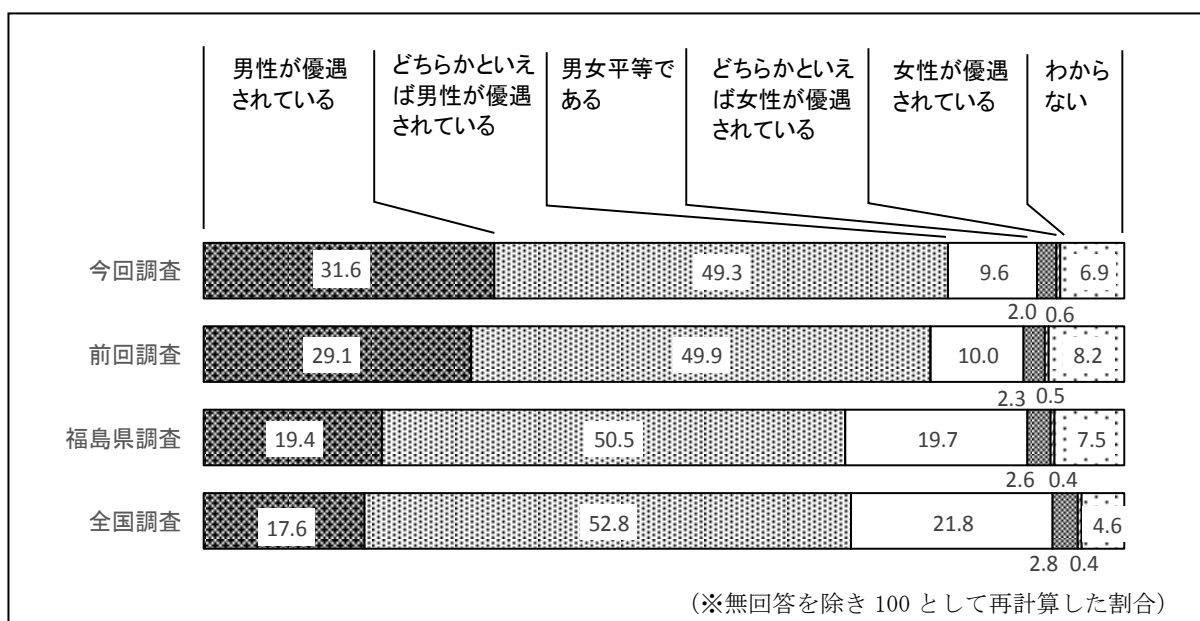
“男性優遇”の割合は、10代（41.2%）を除きいずれの年代も7割以上を占めて高く、その中で50代（85.0%）、60代（83.7%）、30代（82.8%）が上位にある。

“男女平等である”は、10代（23.5）をトップに、40代（12.7%）、70代（10.7%）が続き、“女性優遇”はいずれも1割未満と少ない。

(%)		“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
女性	n=560	82.1	6.6	0.9
男性	n=433	76.4	13.2	4.8
10代	n= 17	41.2	23.5	0.0
20代	n= 60	73.3	10.0	6.7
30代	n= 99	82.8	8.1	5.1
40代	n=142	76.8	12.7	2.1
50代	n=180	85.0	3.9	4.4
60代	n=227	83.7	9.7	1.3
70代以上	n=270	76.7	10.7	1.1

◆前回調査・福島県調査・全国調査との比較

“男性優遇”の割合は、福島市（今回調査）が最も高く、福島県及び全国を10ポイント程度上回るが、“男女平等である”は、反対に全国並びに福島県より10～12ポイント低い。また、“女性優遇”はいずれの場合も少ない。

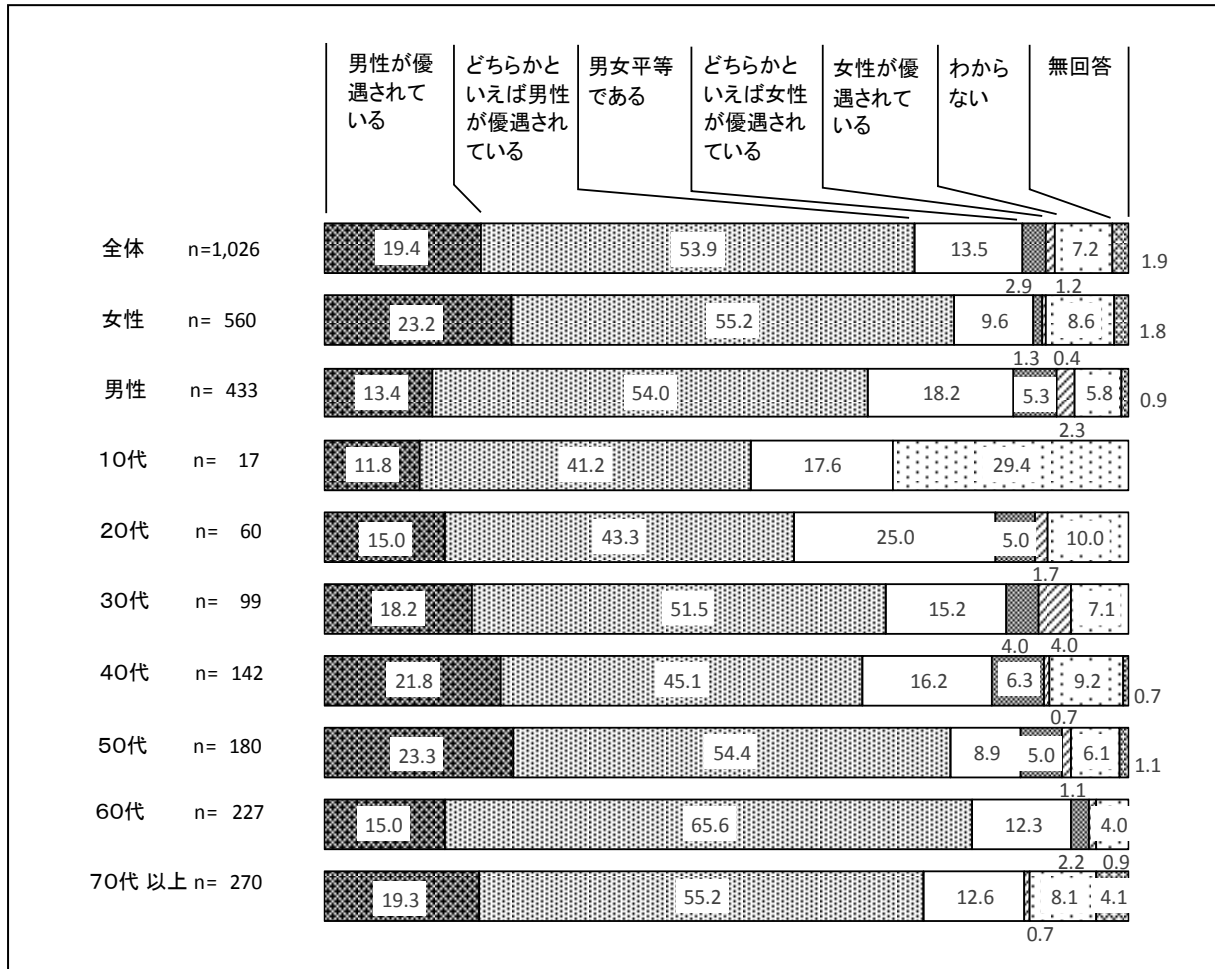


(%)	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	80.9	9.6	2.6
前回調査	79.0	10.0	2.8
福島県調査	69.8	19.7	3.0
全国調査	70.4	21.8	3.2

⑧社会全体

◇全体

“男性優遇” 73.3% > “男女平等である” 13.5% > “女性優遇” 4.1%



- 全体では、“男性優遇”が73.3%、“男女平等である”が13.5%、“女性優遇”は4.1%。
- “男性優遇”は、男女ともに高い割合にあつてかつ女性が男性を上回り、年代別では、最も高い割合の60代（80.6%）を中心に50代、70代以上の中高年代で特に高い。
- “男女平等である”は、男性が女性を上回り、年代別では20代（25.0%）をトップに、以下、10代、40代、30代の1割台が続く。
- “女性優遇”は、いずれも1割未満と少ない。

◇性別

“男性優遇”の割合は、女性（78.4%）が男性（67.4%）を11.0ポイント上回り、“男女平等である”は、男性（18.2%）が女性（9.6%）を8.6ポイント上回る。また、“女性優遇”は、男女とも1割未満と少ない。

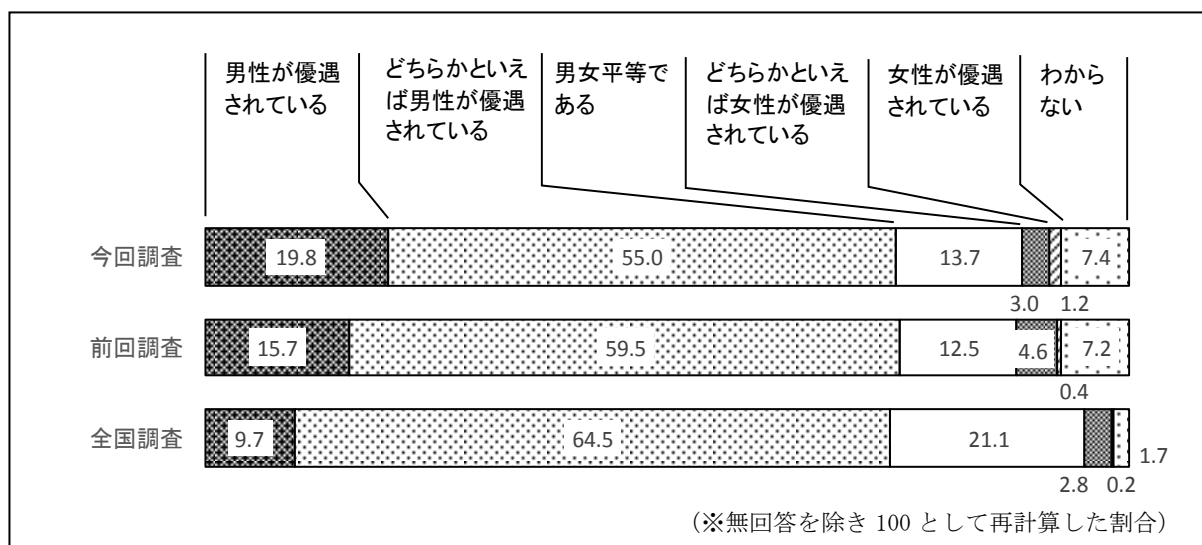
◇年齢別

“男性優遇”の割合は、60代(80.6%)をトップに50代(77.8%)、70代以上(74.4%)の中高年代が続き、“男女平等である”は、20代(25.0%)をはじめ、10代(17.6%)、40代(16.2%)、30代(15.2%)の若い年代が上位にある。また、“女性優遇”は、どの年代も1割未満と少ない。

(%)		“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
女性	n=560	78.4	9.6	1.6
男性	n=433	67.4	18.2	7.6
10代	n= 17	52.9	17.6	0.0
20代	n= 60	58.3	25.0	6.7
30代	n= 99	69.7	15.2	8.1
40代	n=142	66.9	16.2	7.0
50代	n=180	77.8	8.9	6.1
60代	n=227	80.6	12.3	3.1
70代以上	n=270	74.4	12.6	0.7

◆前回調査・全国調査との比較

“男性優遇”の割合は、福島市(今回調査)、全国とも7割以上でかつ同水準にあり、また、前回調査ともほぼ同じである。一方、“男女平等である”は、全国から7.4ポイント下回り、“女性優遇”の割合は、全国と同様少ない。



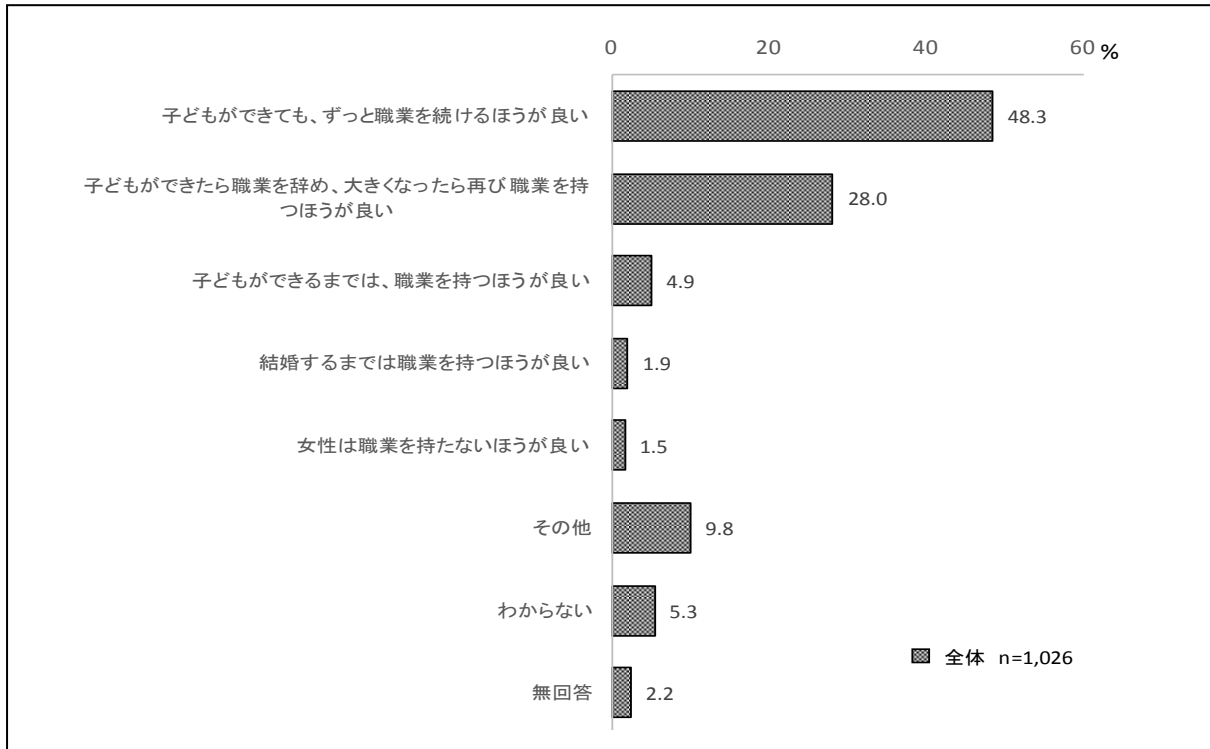
(%)	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	74.8	13.7	4.2
前回調査	75.3	12.5	5.0
全国調査	74.2	21.1	3.0

(2) 女性が職業を持つことについて

問6

あなたは、女性が職業を持つことについて、どう思いますか。(複数回答)

◇全体

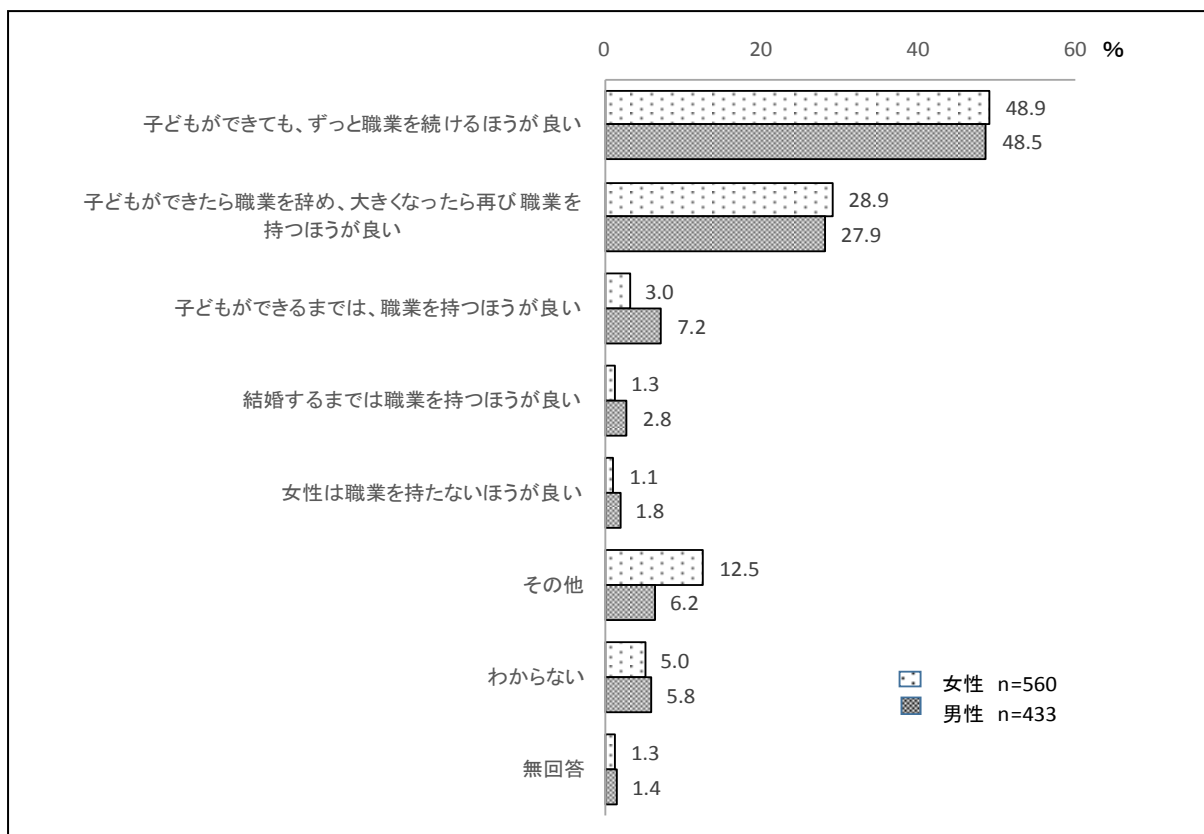


- 「子どもができて、ずっと職業を続けるほうが良い」(48.3%)が、回答者の半数近くを占めて最も多く、次いで「子どもができたら職業を辞め、大きくなったら再び職業を持つほうが良い」(28.0%)である。
- なお、「子どもができるまでは、職業を持つほうが良い」(4.9%)など、他の項目の割合は少ない。

◇性別

「子どもができて、ずっと職業を続けるほうが良い」と「子どもができたら職業を辞め、大きくなったら再び職業を持つほうが良い」とも、女性と男性の割合はほぼ同じである。

一方、割合は少ないが、「子どもができるまでは、職業を持つほうが良い」の場合は、男性の割合が女性をわずかに上回っている。



◇年齢別

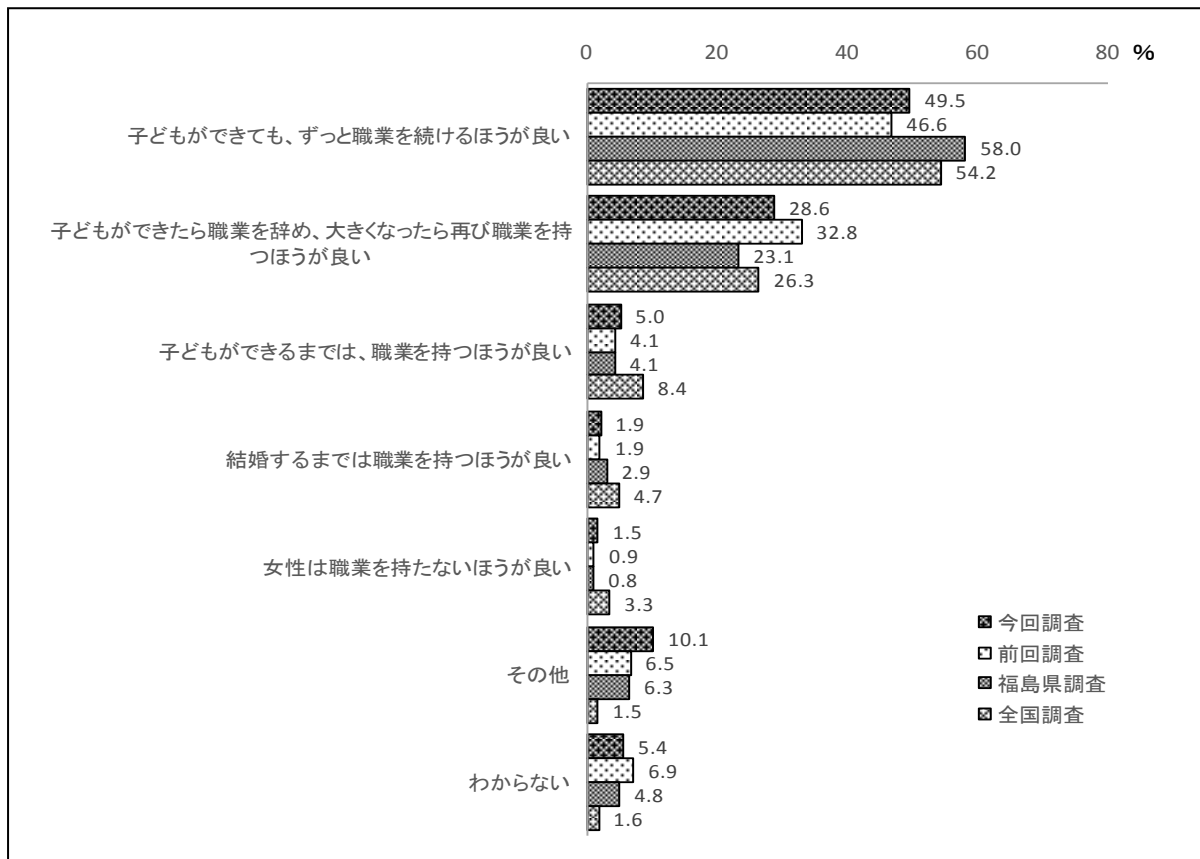
「子どもができて、ずっと職業を続けるほうが良い」は、40代～60代の各年代で過半数を占め、また、10代～30代も半数近くと、どの年代も一様に高い割合にある。一方、「子どもができたら職業を辞め、大きくなったら再び職業を持つほうが良い」は、60代（30.8%）、70代以上（36.7%）の高年代の割合が多く、10代（11.8%）が最も低い。

年齢別	合計	女性が 良い 職業を 持たない ほう	結婚 する までは 職業を 持つ ほうが 良い	職業 を 持つ でき るま では、	子ども が 大き くな たら 再び	子ども が でき ても ずっと	その他	わ か ら な い	無 回 答
		全体	1,026	1.5	1.9	4.9	28.0	48.3	9.8
10代	17		5.9	5.9	11.8	47.1	29.4		
20代	60		1.7	8.3	26.7	48.3	13.3	1.7	
30代	99	2.0		2.0	22.2	46.5	20.2	8.1	
40代	142		0.7	1.4	22.5	54.2	14.8	7.0	0.7
50代	180	1.7	1.1	2.2	23.9	54.4	10.0	6.1	0.6
60代	227	2.2	1.3	4.8	30.8	50.2	7.5	4.0	0.4
70代以上	270	1.5	4.1	8.9	36.7	41.5	3.0	4.8	4.1

◆前回調査・福島県調査・全国調査との比較

「子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」は、いずれの場合も最も高い割合にあるが、福島市（今回調査）は福島県より 8.5 ポイント、全国からは 4.7 ポイント下回り、一方、前回調査より 2.9 ポイント増加している。

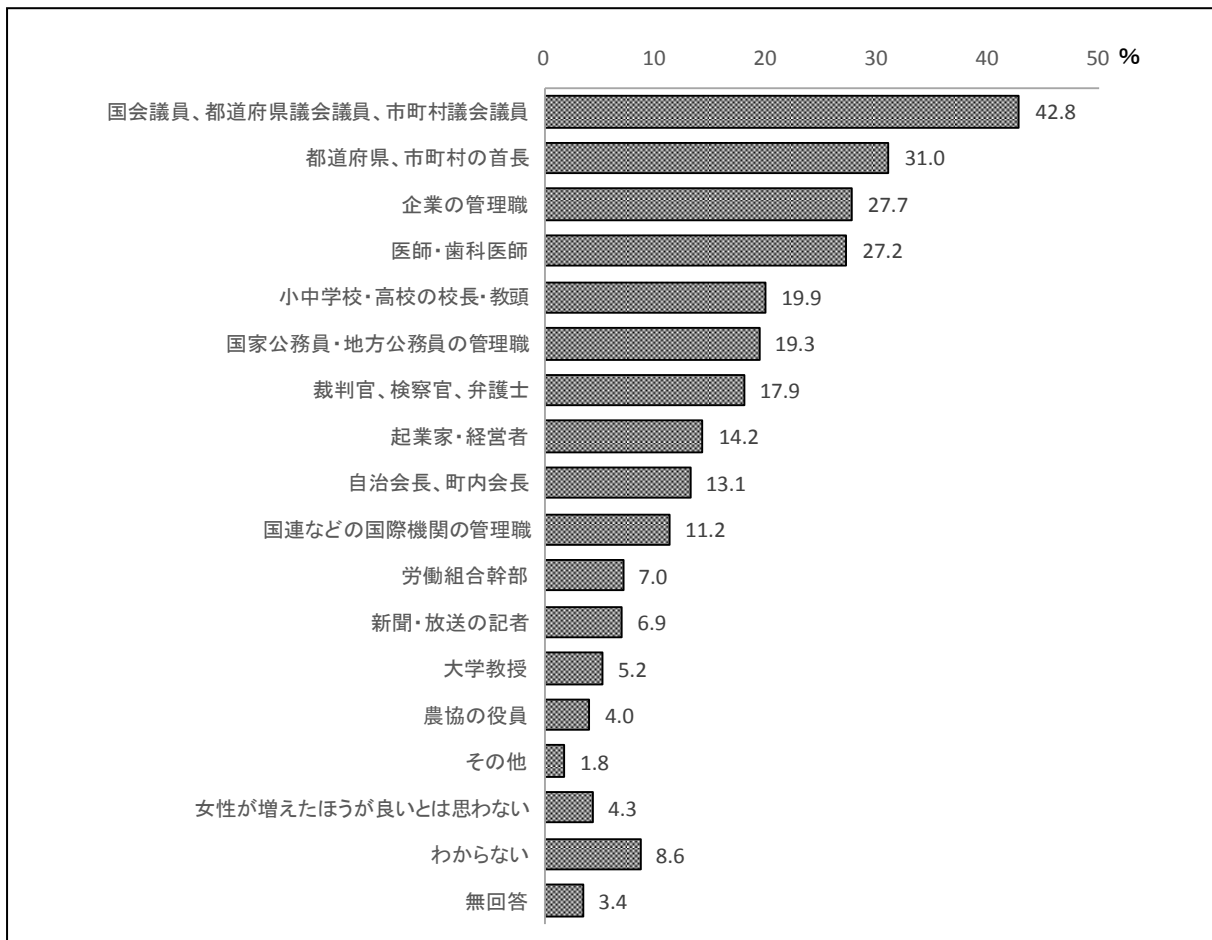
また、「子どもができたなら職業を辞め、大きくなったら再び職業を持つほうが良い」では、福島市（今回調査）が福島県、全国の割合を若干上回るが、前回調査からは 4.2 ポイント減少している。



(3) 女性がもっと増えたほうが良いと思う職業や役職

問7 あなたが、次にあげる職業や役職で女性がもっと増えたほうが良いと思うものはどれですか。

◇全体

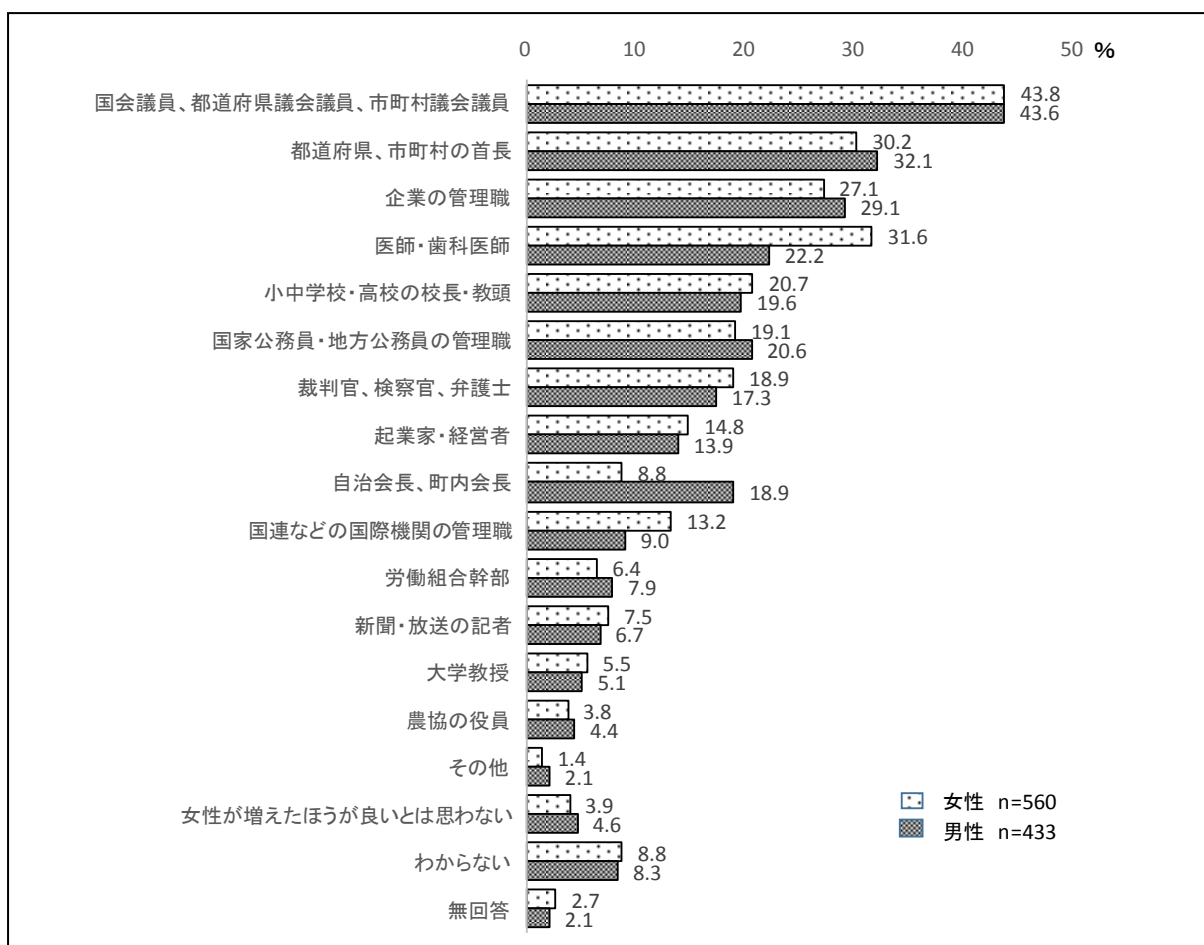


- 「国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員」(42.8%)が最も多く、以下、「都道府県、市町村の首長」(31.0%)、「企業の管理職」(27.7%)、「医師・歯科医師」(27.2%)が続き、上位を占める。
- 一方、「農協の役員」や「大学教授」などの割合が低い。

◇性別

「国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員」は、女性と男性の割合がほぼ同じ。一方、「都道府県、市町村の首長」と「企業の管理職」は、男性が女性よりわずかに多く、「医師・歯科医師」では、女性が男性を9.4ポイント上回る。

女性の割合が男性より大きいのは、「医師・歯科医師」と「国連など国際機関の管理職」、反対に、男性が女性より多いのは、「自治会長、町内会長」である。



◇年齢別

「国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員」は、どの年代も4割以上と多く、「都道府県、市町村の首長」は、30代～50代の中高年の割合が多い。また、「企業の管理職」は50代と10代で、「医師・歯科医師」は、20代と40代で多い。

	合計	都道府県、市町村の首長	議員、市町村議会議員	国会議員、都道府県議会議員	国家公務員・地方公務員の管理職	裁判官、検察官、弁護士	大学教授	教頭	小中学校・高校の校長・教頭	国連などの国際機関の管理職	企業の管理職	起業家・経営者	医師・歯科医師	労働組合幹部	農協の役員	新聞・放送の記者	自治会長、町内会長	その他	女性が増えたほうが良い	わからない	無回答
全体	1,026	31.0	42.8	19.3	17.9	5.2	19.9	11.2	27.7	14.2	27.2	7.0	4.0	6.9	13.1	1.8	4.3	8.6	3.4		
年齢別	10代	17	23.5	47.1	11.8	23.5		17.6	17.6	35.3	17.6	23.5	5.9	5.9	5.9					17.6	
	20代	60	25.0	46.7	23.3	25.0	6.7	11.7	6.7	25.0	13.3	35.0	8.3	1.7	1.7	1.7	1.7	5.0	8.3	1.7	
	30代	99	35.4	45.5	21.2	15.2	8.1	26.3	13.1	30.3	14.1	28.3	7.1	3.0	3.0	8.1	1.0	7.1	7.1	1.0	
	40代	142	32.4	40.8	18.3	19.0	4.2	19.7	9.2	28.9	18.3	31.0	9.9	6.3	6.3	9.2	4.2	2.8	9.2	0.7	
	50代	180	32.8	43.3	17.8	23.3	8.3	17.2	13.9	36.1	16.1	20.6	5.6	3.9	3.3	10.6	1.7	4.4	8.3	0.6	
	60代	227	30.8	46.7	20.7	18.5	2.2	17.6	12.3	27.3	11.9	30.0	7.9	3.1	7.5	15.0	1.3	5.3	7.5	3.1	
	70代以上	270	30.8	46.7	20.7	18.5	2.2	17.6	12.3	27.3	11.9	30.0	7.9	3.1	7.5	15.0	1.3	5.3	7.5	3.1	